R7年度（前年度） 事業報告書
一般社団法人やさび
1. 事業の成果（全体概要） 当法人は、「地域資源利用の持続可能モデルを作り、実装する。自然環境と人間生活の関係性を結びなおす。」というミッションのもと、拠点を置く茨城県石岡市上青柳地区において、里山環境の調査・保全・整備活動を推進してまいりました。 前年度は、これまでボランタリーに行われがちであった環境整備活動を、現代の経済活動や人の営みと結びつけるための基盤づくりに注力しました。具体的には、耕作放棄水田や里山林の調査・ゾーニングを行い、そこから発生する副産物を空間デザイン事業の資材として再定義・活用する独自の収益化サイクルを稼働させ、持続可能な里山保全のモデルケースとしての実績を積むことができました。
2. 実施した主な事業内容 **(1)** 里山環境整備・保全事業

- 活動内容: 石岡市上青柳地区を中心とした里山林、人工林、耕作放棄水田の調査およびゾーニングを実施。持続的な維持管理が難しいエリアについては「自然への手の引き方」の計画策定を行いました。また、専業農家が手放した水田の再運営に向けた基礎整備や、生物多様性の回復を促す湿地づくりの検証を実施しました。
- 成果: 集落の区長や土地所有者等との協力体制を構築し、今後の持続的な保全活動に向けた基盤と地域の合意形成を図ることができました。

(2) 空間デザイン・資材活用事業（収益事業）

- 活動内容: 里山整備の過程で発生する副産物（木材、竹、土など）を、建築・土木・造園用の資材として再定義し、自社でデザイン・設計・施工を請け負う空間デザイン事業において活用しました。
- 成果: 環境保全活動から生じた副産物を経済的価値に変換することで、事業収入を獲得し、環境整備活動の継続に必要な資金循環の一部を構築しました。

(3) コミュニティ形成・ネットワーク事業

- 活動内容: 里山環境の体験ができる「やまには」の整備や、多様な主体が集い意見交換を行うための拠点整備を実施しました。
- 成果: 筑波山麓茅葺き文化保存会などの地域団体や、環境活動に取り組む他団体との意見交換の場を設け、相互協力のネットワークを強化しました。

3. 組織および財務の状況 **(1)** 組織体制

- 役員体制：代表理事1名、理事2名、監事1名
- ※今後の公益性向上と寄付金受け入れ体制強化のため、次年度（2026年5月）からの非営利型一般社団法人への移行に向けた準備を完了しました。

(2) 決算状況の概要 前年度の収益は以下の通りであり、事業収入と補助・助成金を適切に活動資金として活用いたしました。

- 収入合計：5,793,442円
    - 補助・助成金：1,657,610円
    - 事業収入：4,135,832円 （※詳細については別途提出の「決算書」をご参照ください。）